



統計局統計調査部調査企画課総括係長

## 西川 由里子 NISHIKAWA Yuriko

平成 27年 4月 総務省採用  
 同 統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室  
 平成 28年 6月 同 行政管理局企画調整課  
 併任 内閣官房内閣人事局(機構総括係)  
 平成 29年 7月 内閣官房内閣人事局(人事評価係)  
 平成 30年 7月 内閣官房内閣人事局任用第一、高齢対策係長  
 令和 元年 7月 総務省統計局事業所情報管理課レジスター統計係長  
 令和 2年 7月 現職

# 雨垂れ石を穿つ

### 総務省との出会い

今から7年ほど前、工学部の学生だった私は、せっかく身につけた体系的な知識を活かしつつも専門にとらわれない幅広い仕事にチャレンジしてみたいと思っていました。当初「公務員」という選択肢は全くなかったのですが、たまたま見つけた総務省のチラシになんとか興味を引かれて説明会に顔を出したところ、良い意味で既成概念が打ち砕かれたのを覚えています。行政の最前線で活躍する職員は生き生きとしていて、熱い思いを持って仕事をしていることが伝わってきました。

### 未知の世界に飛び込んで

御縁があって総務省に入省した私は、統計局で「労働力調査」の公表作業に従事した後、内閣官房内閣人事局に3年間出向し、機構・定員査定、人事評価制度、任用制度等を担当しました。出向中に経験した仕事は印象深いものばかりですが、内閣官房という組織の特性上、どれも省庁横断的な視点で取り組む必要があり、大局的なモノの見方の訓練になり

ました。耳慣れない言葉や未知の世界に日々戸惑いながらも、同僚や上司に支えられ、チームの一員として大きな仕事をやり遂げることができた時の達成感はひとしおです。3年ぶりに統計局に戻ってきてからは、出向中に得た経験を生かしながら、新しい統計の作成に向けた研究業務、各課室の調整やとりまとめを行う総括業務など新たな仕事を通じていろいろな方と関わり合い、刺激を受けながら経験を積んでいます。

### 変化を起こす力

社会は常にめまぐるしく変化するので、既存のやり方やルールが常に最善であるとは限りません。行政官は普段ルール(法律)の下で戦略を練っていきませんが、時にはルールそのものをより良いものに作り変えるルールメーカーとしての仕事をすることもあります。ただ、これまでのやり方を変えて変化を起こすのは容易なことではありません。

知恵を出し合い、あらゆる可能性を検証し、多くの人の意見を聞きながら調整していくプロセスは泥臭い作業の連続です。しかし、地道

な努力の積み重ねによって未来をより良く変えていけるのがこの仕事の醍醐味であると私は思います。自らの手でより良い明日を作っていきたいという熱い意志を持った方は、是非総務省の扉を叩いてみてください。



内閣人事局在籍時、出張にて航空自衛隊F-2戦闘機に試乗

### 消防の仕事

私は今、消防庁の地域防災室というところで仕事をしています。地域の安心・安全は地域住民で作る。そうした自助・共助寄りの視点から、全国の地域防災体制を構築していくのが役割です。

霞が関の仕事は忙しいと言われるますが、確かに、政策を作り適切に執行していくためには、歴史的経緯や関係する諸制度、地域の実情までの理解が必要となります。アカデミックな議論からわかりやすい説明まで、課室員のマネジメントから法令の一言一句を紡ぐ仕事まで、地域防災制度に関係するあらゆることが自分の仕事の範疇となるため、毎日慌ただしいですが、明るく真面目な上司・同僚・部下に恵まれていることもあり、充実感はこのうえありません。

### 政策立案の現場から地域生活の現場まで

よく「現場主義」と言われますが、霞が関は政策を立案し、執行していく現場です。全国に跨る政策を作ることは、地域を、日本を真に

良くしていくため欠かせない重要な役割の一つです。一方で、霞が関だけでは地に足がついた行政サービスは提供できません。そのため、総務省では何度も地方に出向し、地方行政の現場や地域に暮らす生活者としての現場を学び、そしてその地のために全力で貢献する機会を設けています。国・県・市町村を通じた「行政官のプロフェッショナル」を目指すのが総務省職員の究極の務めだと感じています。

### 行政官としての専門性と一住民としての感覚のバランス

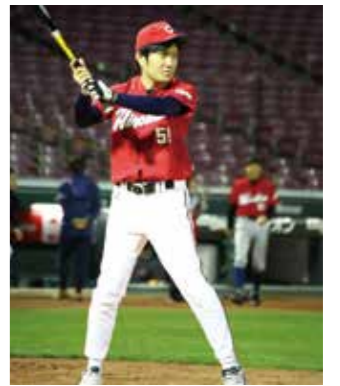
行政官としての専門性を身につけることと同じぐらい、一住民としての感覚を磨き続けることもこの仕事をやるうえでは大切です。コロナ禍でなかなか行けていませんが、ざっくばらんな飲み会は大の趣味ですし、また、体力や時間の許す限りになりますが、課外活動やスポーツなど、余暇も積極的に満喫するようにしています。

### 好奇心と責任感、地域愛に溢れる皆さんへ

今は地域防災の仕事をしています。総務

省の6年間は大臣政務官の秘書や地域への人の流れづくり、税制の設計に採用業務、また、広島県・茨城県の計6年間は財政・広報・市町村行政に携わらせていただきました。たった12年間の社会人歴でこれだけの経験ができるのは、総務省ならではの魅力だと思います。

受験生の頃、試験勉強の合間に、目を瞑り総務省のキャリアパスを歩む自分を思い浮かべたとき、無性にワクワクしたことを今でも覚えていますが、まさにその期待を裏切らない人生が待っていると思います。好奇心と責任感、そして地域愛に溢れる皆さんの来省を心からお待ちしています。



マツダスタジアムで野球(広島県庁赴任時)

# 国・県・市町村を通じた行政のプロフェッショナルを目指して

消防庁国民保護・防災部防災課  
地域防災室課長補佐

## 鈴木 洋平 SUZUKI Yohei

平成 21年 4月 総務省採用  
 同 自治財政局調整課  
 8月 茨城県総務部地域支援局市町村課  
 平成 22年 4月 同 総務部財政課  
 平成 23年 4月 総務省大臣官房秘書課  
 平成 24年 8月 同 自治税務局都道府県税課  
 平成 25年 7月 同 自治税務局都道府県税課主査  
 平成 26年 7月 同 自治税務局企画課主査  
 平成 27年 4月 広島県総務局広報課長  
 平成 29年 4月 同 総務局財政課長  
 平成 31年 4月 総務省自治行政局地域自立応援課課長補佐  
 令和 元年 9月 同 大臣官房秘書課秘書専門官  
 令和 2年 9月 現職

